

りてもな やがふんばるし
ようちしていよ (十五 8)
とあります。これは親神様か
らの試しであります。このよ
うなことを自分の事と思ひ、

と身上、事情の御守護を頂く
には陽気ぐらしへ近づく思い
をもって心定めをさせて頂く
ことが御守護の近道であると
思わせて頂きます。

心定めをしたことがあるかと
思いますが、期限を仕切って、
主に身上や事情の御守護を頂
くために心定めをさせて頂く
ということが大半であると思
います。私自身、道一条で通
らせて頂いてからは、心定め
と共に日々通らせて頂いてい
るように思います。

けに出させて頂く努力をしま
した。そうかといつて1年通
して勇んでにいがけに回っ
ていたかというところがあ
りませんでした。9月の布
教推進月間は意識してにをい
がけに回らせて頂きました。

か通っておりますと親神様・
教祖が御守護下さいます。ま
た、おぢばの声を素直に聞き、
布教強調の月に力を入れて喜
んでつとめると、様々な御守
護が頂けるのだと思わせて頂
きます。正直、昨年は定めた
から数だけとはいくらいで
にいがけに出ていたのが大
半でしたので、他にも喜ばせ
て頂くことが多くあったとい
うことを考えますと親神様・
教祖はこんな思いで回ってい
たのに、喜ばせて下さったの
かと思ひますと、もっと御守
護頂いたところの丹精をさせ
て頂かなければならないと思
わせて頂きます。

身上や事情が起きた時には親
神様が踏ん張っているので身
上、事情で心を倒さないよう
しつかり心を定めてくれと
言っておられます。そして、

御守護を頂くための方法は
色々あると思いますが、先ず
我々は何をすべきかと考えま
すと、現在、大教会では何に
力を入れていくのかというこ
とを考えて頂きたいと思いま
す。今年の大教会の活動方針
は、昨年同様であります。『お
やさまのひながたとは、よう
ばくを育て増やすこと』初席
者104名、中席者280名』であ
ります。この初席者、中席者の
御守護を頂くということが現
在大教会で力を入れているこ
とであります。特に初席者104
名は御本部、真柱様に提出し
ている心定めの一つでありま
す。私はこの心定めを達成さ
せて頂くことが出来れば本当
に親神様に喜んで頂けると
思っております。またそれぞ
れの教会で人の心定め、御供
の心定めをしています。心
定めをしただけで何もしなけ
れば心定めは達成は難しいと
思います。何か動き、アクショ
ンを起こさなければ御守護は
頂けません。皆様も何かしら

昨年より住込みはにをいが
け・おたすけに関する心定め
をさせて頂いております。私
はにをいがけ件数を心定めさ
せて頂きました。おさづけの
回数、にをいがけ先でのお話
の回数を心定めしている者も
おります。心定めをさせて頂
いた結果、12月の終わり頃ギ
リギリまでかかりましたが、
無事に心定めを達成させて頂
きました。1年間、心定めを
意識していたことは確かであ
ります。心定めをしなければ、
明日はあの用事があるからに
をいがけはいいかなと思つて
行かないことが多くあったと
思います。しかしながら1カ
月の件数の目安があり、件数
が足りなければにをいがけに
出なければ、後々厳しくなっ
てくると思ひ、スケジュール
を考えたり、前の日に出来る
ことをやったりと、にをいが

をこちらからしようと思つて
いませんでした。早々に失礼
しましたと帰ろうとしました
が、帰り際、ふと何気ない一
言で、自分でも意識して言っ
た言葉ではなかったのですが、
会話が続き出し、話が盛り上
がり、家に入れて頂き、おさ
づけを取り次がせて頂きました。
この時、通い先を御守護
頂き現在も通わせて頂いてお
ります。おさしづに

心定めと共に日々通らせて
頂いたと先ほど申しましたが、
以前にも心定めは大きい事か
ら小さい事まで色々させて頂
いてきました。自分の成人の
ために、にをいがけやチラス
配り、身上を御守護頂くため
の12下りのお願いづとめをさ
せて頂いたこともありました。
また、結婚させて頂きたくて
心定めをさせて頂いたことも
あります。その中でも御守護
を感じ、ありがたかつたこと
は、私が斜里町分教会の六代
会長のお許しを戴いた直後に、

「さあ、月日がありてこの
世界あり、世界ありてそれ
あり、それありて身
の内あり、身の内ありて律あ
り、律ありても心定めが第一
やで」(明治20年1月13日)
という有名なおさしづがあり
ます。これはこの世の成り立
ちの順序を説かれ、親神様の
思召通りに心を定めることが
何よりも肝心であるというこ
とを論されており。当時、
官憲の取り締まりが厳しくお
つとめがなかなかつとめられ
なかつた時におつとめを急ぎ
込まれた時のおさしづですが、
親神様の思召は陽気ぐらしの
世に立て替わることでありま
す。ですから親神様の思いを
多くの人に知ってもらい陽気
ぐらしに少しでも近づくよう
なことを心定めて実行してい
かなければなりません。それ

とを考へて頂きたいと思いま
す。今年の大教会の活動方針
は、昨年同様であります。『お
やさまのひながたとは、よう
ばくを育て増やすこと』初席
者104名、中席者280名』であ
ります。この初席者、中席者の
御守護を頂くということが現
在大教会で力を入れているこ
とであります。特に初席者104
名は御本部、真柱様に提出し
ている心定めの一つでありま
す。私はこの心定めを達成さ
せて頂くことが出来れば本当
に親神様に喜んで頂けると
思っております。またそれぞ
れの教会で人の心定め、御供
の心定めをしています。心
定めをしただけで何もしなけ
れば心定めは達成は難しいと
思います。何か動き、アクショ
ンを起こさなければ御守護は
頂けません。皆様も何かしら

とあります。これはこの世の成り立
ちの順序を説かれ、親神様の
思召通りに心を定めることが
何よりも肝心であるというこ
とを論されており。当時、
官憲の取り締まりが厳しくお
つとめがなかなかつとめられ
なかつた時におつとめを急ぎ
込まれた時のおさしづですが、
親神様の思召は陽気ぐらしの
世に立て替わることでありま
す。ですから親神様の思いを
多くの人に知ってもらい陽気
ぐらしに少しでも近づくよう
なことを心定めて実行してい
かなければなりません。それ

とあります。これはこの世の成り立
ちの順序を説かれ、親神様の
思召通りに心を定めることが
何よりも肝心であるというこ
とを論されており。当時、
官憲の取り締まりが厳しくお
つとめがなかなかつとめられ
なかつた時におつとめを急ぎ
込まれた時のおさしづですが、
親神様の思召は陽気ぐらしの
世に立て替わることでありま
す。ですから親神様の思いを
多くの人に知ってもらい陽気
ぐらしに少しでも近づくよう
なことを心定めて実行してい
かなければなりません。それ

とあります。これはこの世の成り立
ちの順序を説かれ、親神様の
思召通りに心を定めることが
何よりも肝心であるというこ
とを論されており。当時、
官憲の取り締まりが厳しくお
つとめがなかなかつとめられ
なかつた時におつとめを急ぎ
込まれた時のおさしづですが、
親神様の思召は陽気ぐらしの
世に立て替わることでありま
す。ですから親神様の思いを
多くの人に知ってもらい陽気
ぐらしに少しでも近づくよう
なことを心定めて実行してい
かなければなりません。それ